

1 防風通聖散 (図 17)

麻黄・防風・荊芥・薄荷は発汗解表により表邪を排する薬物である。また、大黃・芒硝・甘草は調胃承気湯であり、中焦の実熱を治す方剤である。石膏・桔梗・黄芩・連翹・山梔子は上焦の実熱を、そして滑石・山梔子は下焦の実熱を治す薬物である。したがって、本方は発汗解表により表邪を排すると同時に、上・中・下焦の実熱を治す薬物が配合される「發表攻裏」の方剤である。したがって、顔面や皮膚などの表証と、上・中・下焦の裏の実熱をともに治療する方剤といえる。

【防風通聖散の臨床応用】

① 代謝異常症に用いる

中年期以降、食欲があり消化機能・同化機能に変化がないのに異化作用が低下したため、中間代謝産物の排泄が不十分になり、その結果として生活習慣病に罹患したときに適用する。

- ① 肥満に**大柴胡湯**を併用する。
- ② 高脂血症に**大柴胡湯**、**黄連解毒湯**を併用する。
- ③ 重症糖尿病に**竜胆瀉肝湯**を併用する。
- ④ 高尿酸血症に用いる。
- ⑤ 肥満・高脂血症・糖尿病・高血圧などによる虚血性心疾患の予防に**通導散**を併用する。
- ⑥ 動脈硬化症に**大柴胡湯**を併用する。
- ⑦ 脂肪肝で過食もしくは肥満傾向にあるものに用いる。

② 回転性めまいに用いる

難治性メニエールに麻黄・芒硝を去り、菊花 2g・縮砂 3g を加える。

③ 脳血管障害に用いる

(図 17) 防風通聖散

防 風

麻 黄

荊 芥

薄 荷

発汗解表薬で表邪を発汗により追い出す

大 黄

芒 硝

甘 草

中焦の邪熱を排出する下法の薬物

滑 石

山 梔子

下焦の邪熱を尿から排出する薬物

石 膏

桔 梗

黄 芩

連 翹

山 梔子

邪熱を清解する消炎・解熱・祛痰の薬物

白 朮

生 姜

甘 草

消化管・胃の障害を防ぐ薬物

当 歸

芍 薬

川 芎

四肢や外表部を温める，調経作用

顔面や皮膚の表証と，上・中・下三焦の裏の実熱を共に治療する
発表攻裏の複合方剤である。

原因療法として**通導散**、**桂枝茯苓丸**、**竜胆瀉肝湯**を併用する。

④ 高血圧症に用いる

高脂血症または動脈硬化症を伴うときに**黄連解毒湯**、**大柴胡湯**を併用する。

⑤ 気管支喘息に用いる

成人で難治性のとき、体質改善の目的で**通導散**を併用する。

⑥ 肛門周囲炎に用いる

再発を繰り返すときに**竜胆瀉肝湯**を併用する。

⑦ 慢性腎不全に用いる

通導散、**桂枝茯苓丸**を併用する。

⑧ 関節リウマチに用いる

炎症が寛解した時期に、体質改善の目的で**竜胆瀉肝湯**を併用する。

⑨ 皮膚疾患に用いる

①酒渣第2期および第3期に、**荊芥連翹湯**、**桂枝茯苓丸**をまたは**通導散**を併用する。

②尋常性毛瘡で再発を繰り返すときに**荊芥連翹湯**、**補中益気湯**を併用する。

⑩ 麻疹に用いる